

## 「パチンコ業界の健全化に向けた取組みに関する史的研究—パチンコホール企業の活動を中心に—」事業

### パチンコホール企業が主体的に取り組んできた業界健全化の努力や歴史を知るための手がかりとなる研究書を出版

社会的信用を獲得するために、健全化に向けた努力を続けてきたパチンコ業界。その地道な努力の歴史を知っておくことは、業界の未来を考えるうえでも不可欠ではないだろうか。業界の歩みを振り返るためのきっかけとなるような本が、若い研究者の手によって出版された。「パチンコ業界のプラス面をあえてフィーチャーすることで、議論の踏み台になれればいい」と語る著者に話を聞いた。

#### 業界の健全化に向けてパチンコホール企業が取り組んできた改革の歴史を振り返る本を出版

パチンコについて書かれた本は少なくないが、その多くはパチンコ業界のマイナス面や影の部分に焦点を当てたものである。パチンコを純粋に産業史や文化史、あるいは経済学や経営学の研究対象とした学術書はほとんど見当たらない。

そんななか、社会科学系の専門図書を出版する文眞堂から、今年3月に『パチンコホール企業改革の研究』とい

う研究書が刊行された。著者は、徳島文理大学短期大学部商科で講師を務めている鍛冶博之さんである。全12章に序章、終章、あとがきを加え、約400ページという大部の書だが、その出版費用としてAJOSCの助成が役立てられた。

「1980年代以降、パチンコホール企業が業界健全化のためにどういう取組みをしてきたのか、その歩みや背景、成果や課題といったものをまとめたものです」と、鍛冶さんは話す。この本は、2010年3月に同志社大学大学院に提出した博士論文を中心に、2004年の最初の論文以来、鍛冶さんが書いてきたパチンコホールに関する研究論文15本、さらに業界新聞に掲載した記事などがベースになっており、これまでの研究の集大成といえるものである。

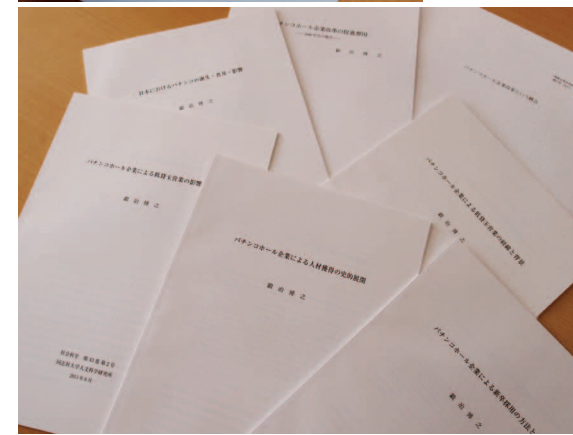
「これまでパチンコ産業の歴史的展開といったものを研究テーマのひとつにしてきましたが、純粋に社会的視点に立って業界の健全化についてまとめておくことに意味があるのではないかと考えていました。そのため、この



鍛冶さんのこれまでの研究の集大成となる『パチンコホール企業改革の研究』



著書のベースとなった研究論文の数々



本はできるだけ全体的な観点、総体的な観点に立ってまとめました。それが社会にどう受け入れられるかは今後の反応を見ないとわかりませんが、当然、この本に対する批判があってもいい。それによってパチンコに対する学術的な論議が深まればいい。パチンコが研究テーマとして成立するという社会的な風潮や環境ができてくれればいいと思っています」と、鍛冶さんは話す。

#### これまでに書いたパチンコ業界に関する論文を「パチンコホール企業改革」という軸でまとめる

そもそも鍛冶さんがパチンコ産業に興味を持ったのは、大学時代の就職活動にあったという。パチンコホールを展開しているアミューズメント系企業のいくつかを回ったが、その説明会で対応する人事担当者の“熱い”話しぶりに驚いたという。「それまで抱いていたパチンコ業界に

#### 担当者より



10年かけて蓄積した研究を出版という形でまとめられました

徳島文理大学 短期大学部 商科 講師 鍛冶博之さん

今回の本の前稿のベースとなるものは数年前に完成していましたが、費用が捻出できず、出版を躊躇していました。助成のおかげでそれが実現でき、感謝しております。AJOSCには、業界健全化のためにパチンコホール企業が様々に取り組んでいる活動を積極的に社会に広報するための装置として機能していただけることを期待しております。

対するイメージとは明らかに違う方向を目指している、特に業界の健全化に向けて必死に努力していることが伝わってきました。結果的に大学院に進んだのですが、企業の成長と破綻に関する歴史的考察を研究テーマに選んだ際、そのときの説明会の模様を思い出し、パチンコ業界を取り上げてみようと思ったのが研究の原点です」と、鍛冶さん。

今回、1冊の本にまとめるにあたって最も苦勞したのは、ベースにした論文がもともと個別のテーマで書いたものだったということ。「そのため、1冊の書物として統一感を持たせるための“軸”が必要でした。その軸となったのが、『パチンコホール企業改革』というタームでした。パチンコホールを経営する企業が、業界の健全化に向けて自らを変えていく、その内実や歩みをパチンコホール企業改革というタームに託しました」と、鍛冶さんは語る。

最後に鍛冶さんは、「業界全体のイメージ向上のために健全化は必須の条件ですが、そのための努力をメディアはなかなか取り上げてくれない。そうした状況を変えていくためには、こうしたことをやっているという事実を伝えるだけでなく、もっと戦略的なプロモーションを行って社会に周知する必要があるのではないか」と、今後、パチンコ業界が一層の社会的な信用度を獲得していくために必要となる方向性を示唆した。